

10月 モニターレポート		担当出張所	枚方出張所
担当区間	淀川中流左岸 鳥飼仁和寺大橋～枚方大橋		
モニター実施日時	令和元年10月17日(木) 7時～ 8時 令和元年10月25日(金) 7時～ 8時		
天 候	曇天		
(見出し)			
<p>今月は淀川左岸の仁和寺野草地区～枚方地区についてモニターしました。</p> <p>不法投棄について報告します。</p>			
<p>朝夕は涼しさが心地よく、過ごしやすい10月。ランニングやサイクリングに勤しむ方も先月に比べ、増えてきました。</p> <p>今月は台風19号の猛威で関東、東北、信州の河川が氾濫し、甚大なる被害に恐怖を覚えました。災害はいつ発生するかわからない状況ですので、ハザードマップ、避難所の確認等、個人としての準備はもちろんのこと、淀川の堤防含めた予防体制の構築はお願いしたいところではあります。スーパー堤防と呼ばれるものは枚方大橋の南側一帯にあたるものですが、不十分のようにも感じます。予算の関係もあるでしょうし、管轄も把握はしていませんが、市民としては地域の安心安全を願うばかりです。</p> <p>伸び放題であった雑草も順次刈り取りが進められていました。</p>			
			

不法投棄が一箇所ありました。前かごに物が乗せられてある状態で自転車が放置されていました。大阪湾より25.0kmあたりです。



施設等の異常、破損、いたずら等は見かけられませんでした。

(意見・感想・処置等)

10月分のレポート有り難うございました。

台風19号による豪雨被害、氾濫などによる浸水範囲は去年の「西日本豪雨」を超えたほか、土砂災害も1つの台風によるものとしては最も多くなるなど、国が対策の見直しを迫られる記録的な豪雨災害になりました。

洪水が堤防からあふれると洪水によって堤防が削り取られ、決壊する可能性があります。

大都市を背後に抱える淀川で堤防が決壊した場合、大阪中心街において壊滅的な被害を受けます。

そこで、いかなる洪水に対しても決壊しなしことを目的に、幅の広い「高規格堤防」(スーパー堤防)を整備しています。

「人命を守る」ということを最重視し、「人口が集中した区域で堤防が決壊すると甚大な人的被害が発生する可能性が高い区間」である大阪ゼロメートル地帯等の区間を対象に整備を実施しています。

今年度は、大阪市此花区酉島地区において事業を実施しています。

枚方出張所管内においては現在高規格堤防事業として整備中の地区はありませんが、過去に下記の地区において規模の大小はありますが、整備を実施しております。

- ① 守口地区 ② 点野地区 ③ 木屋地区 ④ 出口地区
- ⑤ 出口北地区 ⑥ 伊加賀西地区 ⑦ 新町地区 ⑧ 牧野北地区

それでは11月のレポートをお待ちしております。